

平成 27 年度決算審査特別委員会 Q & A

平成 27 年度決算審査特別委員会が、9 月 12 日、13 日の 2 日間開催され、一般会計から水道事業会計までの 9 会計の歳入、歳出について、活発な審議を行いました。

決算審査の質疑の一部を要約して掲載します。

質疑の主な内容

総務費

バルーン型投光機について

Q どこに何基設置されているのか。また、購入の目的と今後の導入計画は。

A 避難所の明かり取りを目的に、昨年度は 1 基を購入。現在 4 基を農協倉庫を借り上げた備蓄庫に有している。将来的には 10 基まで増設の予定である。

Q 備蓄庫ではなく、避難所で備蓄できないのか。

A 備蓄品や資機材は、管理、運用が非常に重要なため、今後も現在の集中管理体制を執っている。主要避難所数の 2 分の 1 を備蓄する計画で現在進めており、今後は、札内、忠類地区にも配分し備蓄する予定である。



▶ バルーン型投光機

総務費

合併 10 周年 DVD について

Q DVD の活用方法は。また、たくさんの方に見てもらえるような努力が必要では。

A DVD は現在、庁舎 1 階ロビーで放映しているが、今後、会議等の冒頭で放映するなど、より多くの方に見てもらえる方策を検討していきたい。

民生費

保育所の開所時間について

Q ① 町営が午後 6 時 30 分、民営、指定管理では午後 7 時となっている。30 分の是正を求める声を多く聞か、町民からの要望は押さえているのか。

② また、改善に向けてどう取り組むのか。

A ① 子ども・子育て支援事業計画を策定するに当たり、事前に行ったニーズ調査の中でも要望があがっていた。各保育所の懇談会やお迎えの時等に寄せられる要望は、保育所を通じてなるべくきめ細かく聞いている。
② 早期の是正に向けて町立保育所についても開所時間の変更を現在検討中である。

衛生費

ごみ出し支援について

Q 高齢者や障がい者のごみステーションまでのごみ出しについての支援を求めてきた経過がある。27 年度での検討の中身について伺う。

A 既に導入済の音更町に出向くなど研究を重ねている。対象者の数、直営・委託の別についても検討しながら、地域の協力を得られるのかも含め、今年度中に調査を開始し、平成 29 年度以降に実施できるように考えていきたい。

農林業費

農用地周辺の排水対策について

Q 最近の雨量の多い天候でも、予算の範囲内で町民からの要望に対して十分に達成できているのか。

A 過去には町単独で対応していたが、現在は、農地・水の各活動組織と連携を図りながら実施している。要望を受けたものについては大体網羅できていると考える。

商工費

特産品研究開発事業について

Q 平成26年度、27年度では予算が使われていない。事業が活用されるような手立てを講ずるべきと考えるが。

A 前年度まで制度利用の実績はなかったが、今年度は予算を拡充して計上している。

また、補助金の上限は15万円であったが、今年度からは150万円に増額し、商品の研究開発や製造、ラッピング、販路拡大に至るまで一連の流れをトータルで支援するように制度を拡充した。今年度は既に2件の申請があり、開発に向けて進めているところである。

土木費

町道管理委託料について

Q 道路脇の草や支障木が、あまり管理されていない感じを受けるが。

A 今年度は作業の遅れにより多数の苦情をいただいた。ただ回数をこなすだけではなく、作業後の確認を怠らず、きれいに刈れるよう業者を指導していきたい。

土木費

公園の施設管理について

Q ①公園の草刈について、刈残しがよく見受けられるが、業者の指導、チェック体制は。

②休日等、役場が閉庁している際でも、施設内で何かあった場合に対応できるような体制はとれないのか。

A ①数カ所ずつ順次確認を行っている。不備があった場合はやり直しの指導も行っている。こまめに確認して業者を指導するしかないと考える。

②閉庁日でも、役場に電話をいただければ、担当職員に連絡が入る体制を整えている。連絡を受けた職員は、必要があれば業者の手配を行っている。



教育費

薬品の取扱いについて

Q 学校での薬品の管理状況と余った薬品等の廃棄状況について伺う。

A 管理については、内部チェック体制等を厳重にするよう教育委員会から指導しており、鍵を掛けて保管している。また、廃棄は各学校分を一括して教育委員会ですべて行っている。

介護保険特別会計

介護施設について

Q 現在の町内にある入所施設の入所者と待機者の状況は。

A 現在、特別養護老人ホームでは74名、地域密着型介護老人福祉施設は札内・本町・忠類の3施設で86名、有料老人ホームでは10名が入所されている。

待機者の状況は、本年7月末現在、町内の特別養護老人ホームで124名、そのうち特に入所の必要性が高い要介護4、5の方々は47名、他の施設に入所されている31名を除くと16名が在宅で待機されている。

今年度、施設整備等の計画はないが、前年度に比べると13床の増床があった。

会 計 名		平成 27 年度決算額	平成 26 年度決算額	対前年度比
一 般 会 計		171 億 3673 万 2 千円	147 億 4213 万 2 千円	23 億 9460 万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	37 億 2530 万円	33 億 1378 万 5 千円	4 億 1151 万 5 千円
	後 期 高 齢 者 医 療	3 億 4208 万 7 千円	3 億 3830 万 7 千円	3780 万円
	介 護 保 険	21 億 9143 万 3 千円	22 億 1157 万 3 千円	△ 2014 万円
	簡 易 水 道	4 億 715 万 9 千円	4 億 6458 万 2 千円	△ 5742 万 3 千円
	公 共 下 水 道	11 億 1049 万 7 千円	11 億 6199 万 7 千円	△ 5150 万円
	個 別 排 水 処 理	1 億 8006 万 4 千円	1 億 8044 万 3 千円	△ 37 万 9 千円
	農 業 集 落 排 水	6354 万円	6517 万 6 千円	△ 163 万 6 千円
水 道 事 業		11 億 485 万 4 千円	10 億 1735 万 4 千円	8750 万円
合 計		262 億 6166 万 6 千円	234 億 9534 万 9 千円	27 億 6631 万 7 千円
※町民一人当たり		約 960 千円	約 851 千円	